

令和4年度 外国語活動・外国語科 授業改善推進プラン

大田区立東糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・色、野菜、形などの身近なものを示す英単語を正確に聞き取ることは概ねできている。
- ・好きな教科や名前のスペルなど対話の具体的な情報を聞き取ることは概ねできている。

(2) 課題

- ・アルファベットの読み取りができているが、アルファベットの小文字を書くことに課題がある。
- ・既習した英単語や表現を活用して、英作文をすることについて、課題がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第4学年			
第5学年			
第6学年	目標値に対して≧	目標値に対して≧	

(2) 分析（観点別）

①低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○1～10までの数字や身近な動物に関する英単語を正しく発音することができるようになった。 ●11より大きい数や普段馴染みがない英単語は、練習が必要である。	○友達同士のコミュニケーション活動では、外国語を用いて、好きな動物を友達に伝えることができた。 ●学習してしばらく経つと、教わった英単語の意味を忘れてしまうことがあった。	○外国語活動では、様々な活動に対して、意欲的に取り組もうとしている。 ●発音を聞き取るのが難しく、友達と外国語でのコミュニケーション活動中、日本語で話している児童もいた。

②中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○学期を通して、授業の導入で「日時・曜日」、「数字」などの身近な英単語を含めた歌を繰り返し歌うことで、正しい発音ができるようになった。 ○英単語や会話の表現などは、繰り返し発声練習を行うことで、正しい発音ができるようになった。	○友達同士で英語を用いたコミュニケーション活動では、自己紹介や自分の考えを伝えることができた。 ○「好きなもの」や「好きな時刻の理由」などの学習では、既習事項だけでなく、自分の伝えたい英単語を調べ、伝えようとする姿が見られた。	○様々な英語表現に対し、慣れ親しもうと、すすんで発音練習やコミュニケーション活動に取り組もうとする姿が見られる。 ●発音を聞き取ることが難しく、英語を用いてのコミュニケーション活動に自信をもって取り組めない児童もいた。

③高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○概ねアルファベットの形を正しく捉え、読んだり、聞き取ったりすることができている。</p> <p>●アルファベットの小文字の書き取りに課題がある。</p>	<p>○簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることは、概ねできている。</p> <p>●例文を参考に、文を作成することに苦手意識をもっている児童がいる。</p>	<p>○ゲームや遊び等を通じて、友達と英語でのやり取りをする活動では、意欲的に学習に取り組む姿が見られた。</p> <p>●英語への関心・意欲・態度は、第6学年では、前年度より低下している。</p>

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で聞いたことのある英単語を使い、楽しく英語に慣れ親しむことができるような活動を積極的に取り入れていく。 既習事項をフラッシュカードやゲームを通して、復習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も英語を話したいという気持ちを深めるために、児童のよい点を褒め、即時評価を行う。 学んだ英単語の定着を目標に、コミュニケーション活動を多く取り入れたり、習得した英単語を振り返る時間を設けたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語に親しむことができるように、歌やゲーム活動を取り入れるなど、楽しく学習できる雰囲気をつくっていく。 児童が正しく発音できるように、ゆっくり発音したり、個別に発音の仕方を確認したりする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 繰り返しの発音練習やカードを使った活動を通して、英単語を覚えられるようにする。 定期的に、英単語のテストや口頭での確認など既習事項を復習することで、児童の定着度を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい英単語や表現を学ぶ際には、振り仮名を付けたり、アクセントを確認したりして、定着を図る。 実際の場を想定して、友達と英語でのコミュニケーション活動をする機会を設ける。 既習事項の確実な定着のため、授業の始めでは、前回学んだ英単語や表現を復習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ゆっくり、繰り返し発音練習することやフラッシュカードを用いた活動を重点的に取り組む。正しい発音を身に付けさせ、自信を深めて活動に参加できるようにする。 楽しい雰囲気の中で英語に親しむことができるように、歌やゲームなどの活動を取り入れていく。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・書く領域については、なぞり書き、写し書きなどスモールステップで技能を定着させる。・簡単な語句や基本的な表現について、動画やイラストなどの視覚的な情報を用いた学習を行う。	<ul style="list-style-type: none">・簡単な語句・表現を指導する際には、実生活での場面を想定させることで、適切な使い方を理解させる。・書くことに対する苦手意識を軽減させるために、自分の身近な人の紹介など取り組みやすいテーマで文章を書く学習を行う。	<ul style="list-style-type: none">・歌やゲームも導入して、外国語への意欲・関心を高めるとともに、友達と英語でのやり取りをする活動を多く設ける。